

「社訓はどのように周知していますか？」

どこの会社もやっていると思うが、朝礼は毎日しています。朝礼の時に、曜日ごとに異なる社訓を唱和しています。社訓は曜日により異なりますが、基本は同じで「安全は職場の整理整頓」が毎日変わらず同じです。

「本業以外の会社の取り組みがありましたら教えてください。」

ボランティア活動に取り組んでいます。我が社は「仕事が下手でも、地域貢献はどこにも負けない」をモットーとしています(笑)。

具体的には、

①空港道路(秋田市内から空港までの県道約17km)の春の清掃活動を毎年しています。今年は関連会社や社員の町内に呼び掛けて90名の参加で実施しました。参加者の送り迎えで大型バスを会社が手配しました。また雪が解ける春はごみが大量にでるため、トラックで2台分のごみを清掃しました。



空港道路清掃

②一人暮らしのお年寄りの家の屋根の雪下ろし。



道路清掃中

③老人ホームやグループホームを訪問して、タオルを各数百本寄付しています。お年寄りの施設では、タオルは大変に喜ばれているようです。



雪下ろし作業

④川・海辺の清掃活動

⑤献血活動には力をいれており、自社・協力会社及び地域に呼び掛けて、昨年は128人の献血者を達成しました。献血者には会社から3,000円相当の品をプレゼントしています。品はゴミ袋・洗剤や軍手・タオルなどで、結構喜ばれています。



献血活動

秋田市内の当社の献血活動は、陸上自衛隊の次に多い人数です。陸上自衛隊を除く民間の企業では最多数の人数になります。

献血活動は年に2回ですが、今年は昨年を上回る150人/年が目標ですが、春にはすでに76人を達成しており、秋に74人以上確保できる見込みなので、年間の目標人数を超えそうです。

⑥町内活動やPTA活動を社員に積極的に参加することを奨励しています。例えば地域活動で社員から「会社を休みたい」と希望があったら、会社の仕事よりも優先して休んでもらっています。地域活動を積極的に支援していることで、会社運営にも良い結果が出ているのではないかと思います。

「福利厚生を取り組みを教えてください。」

①軟式野球部を持っています。私は硬式野球をしていたので、本音は硬式野球部を作りたいかったが、社員が「硬式では社訓の安全第一が確保できないから軟式にしたい」の声に押し切られて軟式野球部にしました。私はチームで第二ピッチャーをしています。前回北都銀行との試合で私のスローカーブ(年齢で緩い球しか投げられない?)が打てず勝利しました。

②他にゴルフ同好会があります。

③毎年2〜3泊で研修旅行をしています。3年前はハワイに行きました。今年はお沖縄の予定です。

●最後に

秋田市にサッカー専用球場建設が必要だが、完成までに八橋陸上競技場をサッカー場に使用できるように改修工事が必要です。この工事企画のコンペティションで最優秀賞に選ばれました。県議会で承認されれば、受注できる予定です。

※以上で取材は終了しました。今回で3社目のOB会社訪問でしたが、いずれの会社も同じ印象を持ちました。伊藤工業は、他の秋工OBの会社と負けず劣らず社員にやさしく、社長のオーラが感じられました。以下に伊藤工業株式会社のホームページに記載されている会社案内を紹介します。

会社案内

我が雄和地区は“輝く緑と水の郷”のキャッチフレーズの中で昭和56年の秋田空港の開港に伴い、すばらしい発展を遂げています。その中であって我が社、創立以来、ふるさとの環境開発をお手伝いしながら、雄和地区はもとより秋田市、由利本荘市など発展の一助として努力してまいりました。

これからも求められる社会資本充実のために、技術の向上、施工管理の徹底を目標に、社会ニーズにこたえるべく、地域の発展のために最大限の努力をする所存です。

これまでにご支援、ご協力をよろしく申し上げます。

伊藤工業株式会社

代表取締役 伊藤 満

会社沿革

昭和26年	5月	木材、製品販売業設立
昭和32年	2月	製材業、建設業創立
昭和34年	3月	建設業 伊藤組を創立 知事登録を受ける 資本金2,000,000円
昭和38年	10月	社名を建設業伊藤工業に変更
昭和43年	11月	伊藤工業株式会社に組織変更 資本金5,000,000円に増資
昭和48年	12月	資本金11,550,000円に増資
昭和57年	12月	資本金30,000,000円に増資

◆取材・記事

嵯峨 良平 (昭和43年電気科卒/会報金砂編集長)